

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	スポーツ・健康科学研究科
評価基準 4	教育内容・方法・成果
中項目 4-4	成果【自己評定 A】
点検・評価項目(1)	4-4-1 教育目標に沿った成果が上がっているか。
評価の視点	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用
点検・評価項目(2)	4-4-2 学位授与（卒業・修了認定）は適切に行われているか。
評価の視点	学位授与基準、学位授与手続きの適切性
	学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策

II 点検・評価

【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-4-1	<p>学習成果を測定する評価指標の開発・適用は行われていないが、研究科では学位論文審査基準を制定し、公開での学位論文発表審査会（5段階評価）と、主査1名、副査2名による学位論文審査、すなわち、①研究テーマが論文内容を反映しているか。②先行研究の整理と問題設定は適切になされているか。③章立てを含めた論述の流れは適切か。④研究方法の選択・実行は適切になされているか。⑤倫理面での問題はないか。⑥図表の処理・表示も含めて論述が的確かつ分量が適切か。⑦仮説に対する証明は的確・適切になされているか。⑧出てきた結果すべてに対する考察は合理的かどうか。その他、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度な専門的業務に従事するために必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有すると認められるかどうかを総合的に審査し、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）、不可（59点以下）で評価している。このような評価基準なので、本研究科では評価の公平性を遵守するため、指導教員は主査にはなれない制度になっている。その他、留年率、卒業生アンケートの集計結果の数値、就職決定率などで学習成果を評価している。本研究科ではこれまで留年、あるいは退学した学生は存在しない。現在の就職決定率は、博士課程進学者を除くとほぼ100%に近い状況である。</p>
4-4-2	<p>本研究科では、2010年の認証評価において「学位論文審査基準」ならびに「学位授与方針」が学生に明示されていないので大学院手引きに明示されることが望まれる。」という助言があった。それに対応するため2013年度に「学位授与方針」を制定し、それに基づいて学位授与（卒業・修了認定）を適切に行っている。</p> <p>学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策としては、本研究科では学位論文の審査および最終試験または学力の確認を行うことを目的として学位授与のための審査委員会を設置する。審査委員会は、学位請求論文に対して主査1名、副査2名で構成する。なお、評価の公平性を遵守するために指導教員が主査に選出されることはない。また、2名の副査のうち1名は、学位請求論文を提出した領域以外から選出されることになっている。さらに、審査委員会は、修了予定者を対象に論文構想発表会および学位論文発表審査会を開催するが、これらはすべて一般公開で行われる。このように本研究科における学位授与（卒業・修了認定）は適切に行われている。</p>

【効果が上がっている事項】

4-4-1	
4-4-2	

【改善すべき事項】

4-4-1	学習成果を測定する評価指標の開発されてないため適用されていない。
4-4-2	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

「大学院スポーツ・健康科学研究科履修要項2014」、「大東文化大学スポーツ・健康科学研究科完成報告書」
---

《指標データ》

データ集（表8）大学院における学位授与状況

- （表10）公開講座の開設状況
- （表11）学生の国別国際交流
- （表12）海外への派遣学生数
- （表13）国別留学生数（学部別）の経年変化
- （表14）教員・研究者の国際学術研究交流
- （表17）各年次ごとの履修登録単位数制限の状況

III 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

研究科

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	4・4・1 本研究科内の自己点検評価委員会を中心に、学習成果を測定する評価指標を作成する。	検討結果が研究科委員会議事録に記録されるか、あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」に記載される。	→					
14年度 目標	4・4・1 本研究科委員会および本研究科内の自己点検評価委員会において、学習成果を測定する評価制度の開発に関する検討を開始する。	検討結果が研究科委員会議事録に記録されるか、あるいは「スポーツ・健康科学研究科自己点検評価委員会報告書」に記載される。	→	B				